

アラブ首長国連邦ドバイ首長国の輸入規制措置の概要 (平成28年12月21日時点)

【輸入規制措置の概要】

アラブ首長国連邦ドバイ首長国は、日本から輸出される一部の地域の食品について放射性物質検査報告書の提出を求めるとともに、それ以外の地域の食品については日本の政府機関が発行する産地証明書の提出を求めています。

(証明対象・内容)

区分	地 域	品 目	規制内容
1	47都道府県	全ての食品	＜日付証明＞ 平成23年3月11日以前に生産・加工されたことの証明
2	5県（岩手、宮城、福島、栃木、群馬）		＜放射性物質検査証明＞ （アラブ首長国連邦が定める放射性物質基準（注1）に適合していること）（注2）
3	5県以外		＜産地証明＞ （5県以外で生産・加工されたことの証明）（注3）

注1；アラブ首長国連邦が定める放射性物質基準（Codex基準を採用）

放射性物質核種	基準値（Bq/kg）
ヨウ素（ ¹³¹ I）	100
セシウム（ ¹³⁴ Cs+ ¹³⁷ Cs）	1000

区分2の対応については、政府機関が発行する証明書ではなく、ドバイ側に登録した検査機関作成の放射性物質検査報告書（英文）の提出により輸入が認められます。

「ドバイ向けに輸出される食品に係る放射性物質検査機関一覧」は、農林水産省ホームページに掲載しています。

http://www.maff.go.jp/j/export/e_shoumei/arab_shoumei.html

注2；放射性物質検査の結果が、日本の基準値を上回っている場合には、証明書を発行することはできません。

注3；対象製品の原料について放射性物質検査による確認を行った場合は、同検査結果報告書の添付も必要となります。

対象製品が5県産以外であっても、区分2による対応による輸入も認められます。

【本規制措置の適用等】

本措置は、平成28年12月22日の証明書発行分から適用されます。

なお、旧様式の証明書については、12月31日の現地到着分まで受け入れられますが、船貨の場合、12月31日以降も受け入れられることを確認しています。